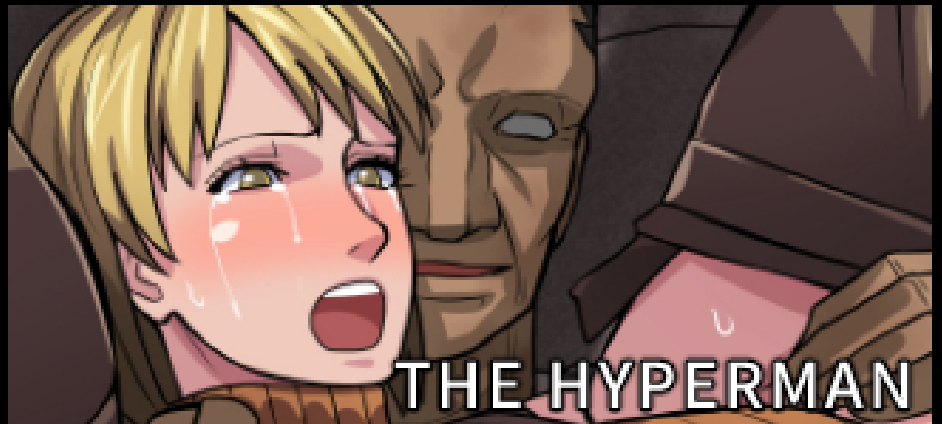


妄想ハザード5



ギィィィ
ガキーン

ひっ…

い…いやっ!

来ないでっ!

それ以上近付かないでよっ!

す…すぐに助けが来て…あんた達なんてっ!

ある日、某国の大統領令嬢であるアシュリーは
何者かに誘拐されてしまった。
見知らぬ場所であつた一人、言葉が通じないばかりか正気を保っているようにも見えない人間たちに囲まれ、彼女の精神は確実に消耗して行く。彼女は一体何処にいるのか、何の目的で誘拐されたのか、何もわからないまま時間だけが過ぎていった。
戦闘訓練を積んだわけでもないただの女子大生に、ここで出来ることは何も無い。
彼女の悪夢は、まだ始まったばかりだつた。





な…何…これっ!?

うっ…臭っ

ぎっ…汚っ

ズッ

グッ

ひっ…乱暴しないでっ

にっ…握れば…良いの??

うっ…助けて…



おごっ！

おぞっ！

んごっ！

グググググ

んぶっ！

…んぶうっ！?

ググググ



そっ…そこだけはやめてっ…

昨日からシャワーも…っ

いっ…いやっ

見ないでっ…

ズン

おあっ

おじっ

…ほっ…本気の!?

そんなとこ舐めるなんて…っ

ダッ…ダメッ!



なっ…何っ!?

舌が…奥…たっ!?

どうなってるの…っ!?

中でウネウネ動いて…っ

ば…化け物っ!?

ビクッ

やだっ!

うっ…動かないでっ…

ひらりり…今…ひらりり…

ズズズズ



ああああっ！

いやっ！

ああああっ！

ああっ！

ちゅっ...ちゅっ...

ぐわっ

...やっ

ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ

ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ

ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ



おっ...おっ...っ

なんで...っ

こんなことばかり...っ

そんなと...っ

ひっ

き...汚...の...っ

おっ...おっ...っ

ズッ
ズッ
ズッ

誰か...助けてっ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ



やだっ

嫌あつ!

奥に...っ

あああつ!

抜いてっ

抜いてよおつ!

ムッ
ムッ

ん
ん

ん
ん

ん
ん
ん

ん
ん



やめてっ！

何処に行くのっ！

下ろしてっ！

なんでこんな...

いやっ！

見ないでよっ！

触らな...

あっ

んっ！

いっ
っ
っ

ズ
ズ
ズ

っ
っ
っ

っ
っ
っ



誰かっ
助けてよっ!
イヤアアツ!

助けてっ!

や...やめろっ...

ハイ
ン

ズ
ツ

痛...痛...痛...

ひっ

ハイ
ン

ハイ
ン

ズ
ツ
ズ
ツ
ズ
ツ





イヤツ…イヤアツ!

そんなの入らないっ!

私死んじゃうっ

お尻壊れちゃうっ!

あぁっ…あぁっ…!

グッ
グッ
グッ

グ
グ
グ

グ
グ
グ



壊れるっ！

壊れちゃうっ！

動かさないでえっ！

っ！

っ！

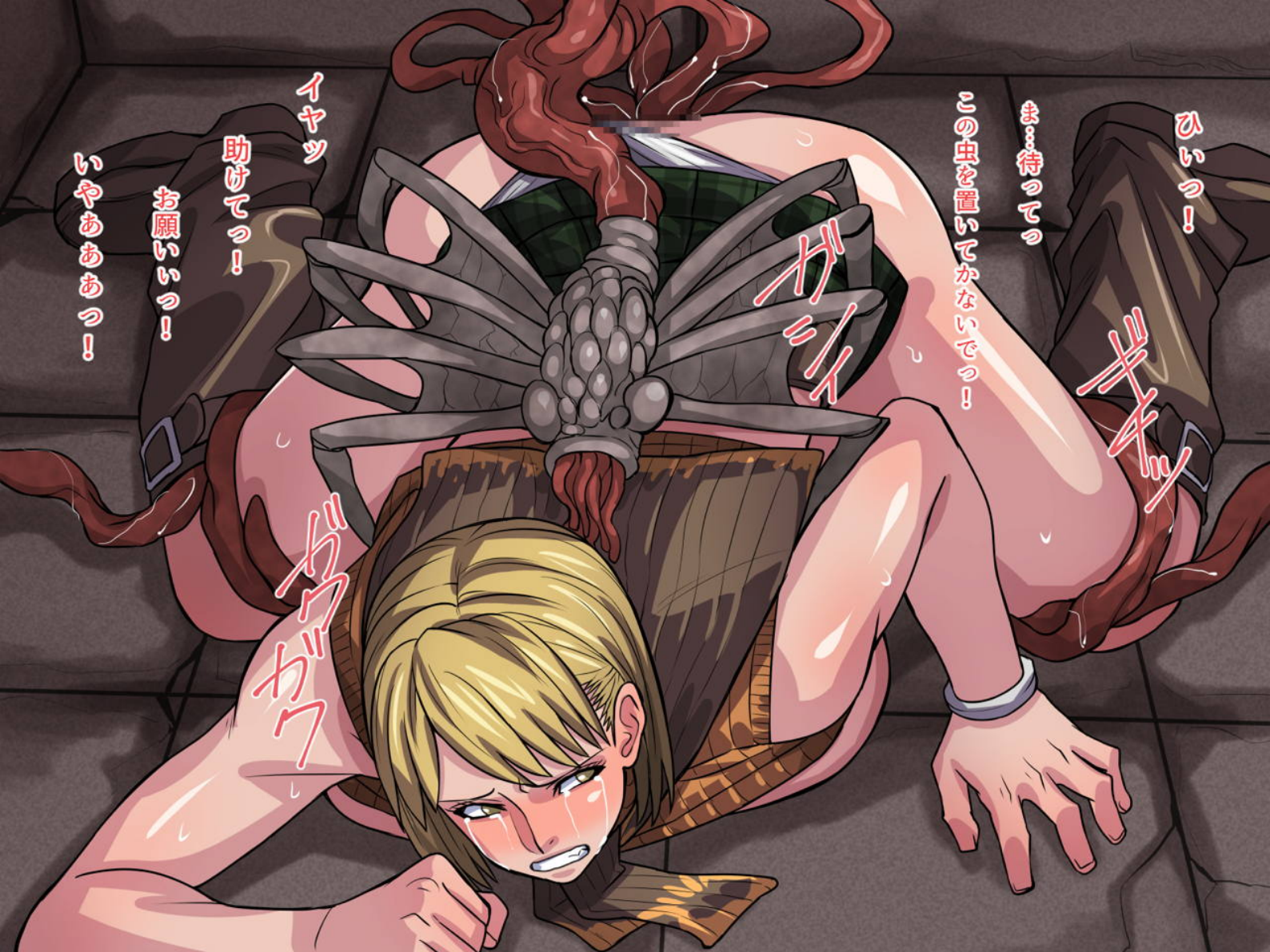
っ！

っ！

っ！

っ！

っ！



ひいつ!

ま...待ってっ

この虫を置いてかないでっ!

ギョッ

ガ
リ
イ

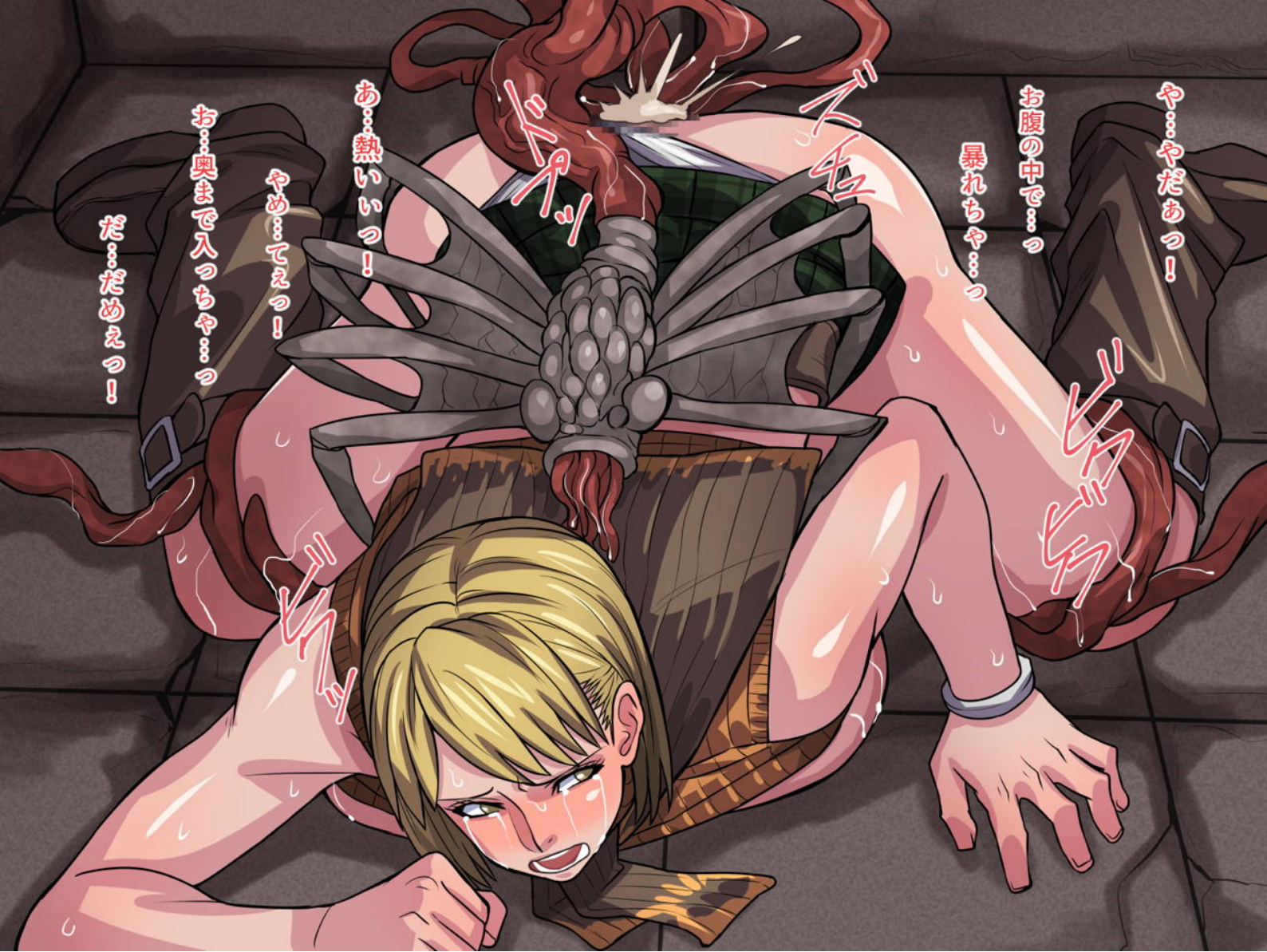
ガ
ク
ガ
ク

イヤッ

助けてっ!

お願いっ!

いやあああっ!



や...やだあつ!

お腹の中で...っ

暴れちゃ...っ

あ...熱いっ!

やめ...てえっ!

ち...奥まで入っちゃ...っ

だ...だめえっ!

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ



カッ...カッ...カッ...

カッ...カッ...カッ...

カッ...カッ...カッ...

カッ...カッ...カッ...

カッ...カッ...カッ...

カッ...カッ...カッ...

カッ...カッ...カッ...

カッ...カッ...カッ...



やっ…嫌っ!

なんで…犬がっ

ズンズン

うああっ!

放してっ!

犬にまでこんなこと…っ

やだっ!

イヤアアアッ!

ズンズンズン

ガ
ニ
ツ



やっ...んぐらうっ!

ズズズ

んむっ

んんっ!

んぐらうっ!

んんんっ!

ズズズ
ズズズ
ズズズ

ギギッ

ズズッ



や…嫌っ！

お…おし…っ…っ…

出…出…っ…っ…

ク…ク…

やだっ！

飲まないでっ！

あああっ

止まらな…っ…

もうやめてえっ！

ク…ク…

じ…じ…





ひいっ

こんな怪物までっ!?

なんで…皆…私を…

クッ
クッ
クッ

やめ…っ

お腹の中…っ

舐めちゃ…駄目えっ!

ズクン

ポッコ

クッ
クッ
クッ

ウウウウウウウウウウ

ウウウウウウウウウウ

ウウウウウウウウウウ





んんんっ！
んんんんんっ！

おっ
おっ

んんん
んんん

んんん
んんん

んん
んん

んん
んん
んん

んん
んん
んん

んん
んん
んん

んん
んん
んん



ひああっ!

やめてっ!

ズググ

降ろしてえっ!

うああああっ!

ヤダッ!

ヤダアツ!

ズウウウ

ガハハ

ズルル



あ...あれ...っ

身体...動かない

な...何...がっ

ん...ん...ん...

ん...ん...ん...

ん...ん...ん...

ん...ん...ん...

ん...ん...ん...



あ...はっ...あ...

お腹...が...っ

く...苦し...っ

た...卵を...

...植え付けて...る...の??

クククク

いや...っ

嫌...だ...っ

...ああ...あああ...

ククク

ククク

グホッ



ああ…あ…あ…

お腹から…卵…が…あ

あ…あ…あ…

頭の…中…り

弄らな…い…でっ

ガクガク

も…よく…

わかんない…いい

…あああ…あ…あ…

ツツツツ

ツツツ





ギモチャイイのおおっ!

ギモチャイイのおおっ!

赤ちゃん...!

ギモ...

ギモ...

赤ちゃん...!

ギモチャイイのおおっ!

ギモチャイイのおおっ!

ギモチャイイのおおっ!



我が配下の者たちに

丁寧に歓迎を受けたようだな

…う…ああ

これで貴様も私の傀儡だ

う…産まれ…ちや…

あ…が…ああ…

これから私のために働いてもらうぞ

…フフフフ

アシユリーが誘拐されてから、既に数日が過ぎていた。その間にアシユリーは筆舌に尽くしがたい程の陵辱を受け、その身体に宿ったとある寄生体が彼女の身体を通常の人間とは別の物へと変質させた。しかし彼女の心は既に壊れ、自身の置かれた状況を理解することが出来なくなっていた。ただの女子大生には酷な現実、それを知らずに済むのはある意味で幸せなのかも知れない。